

	総人口	65歳以上人口	高齢化率	サポーター 講座開催回 数	メイト数	サポーター数	メイト+サポ ーター数	総人口に占 める割合 (メイト+サ ポーター)	メイト+サ ポーター1 人当たり担 当高齢者人 口	総人口 10000人当 たりの講座 開催回数
島根県	733,123	205,700	28.1%	169	119	6,716	6,835	0.932%	30	2.305
岡山県	1,948,250	461,322	23.7%	256	280	7,791	8,071	0.414%	57	1.314
広島県	2,864,167	639,903	22.3%	344	484	11,849	12,333	0.431%	52	1.201
山口県	1,479,840	391,440	26.5%	315	501	11,591	12,092	0.817%	32	2.129
徳島県	805,951	204,228	25.3%	249	234	7,465	7,699	0.955%	27	3.090
香川県	1,019,333	246,378	24.2%	81	29	3,503	3,532	0.347%	70	0.795
愛媛県	1,471,510	368,229	25.0%	482	428	16,917	17,345	1.179%	21	3.276
高知県	784,038	212,088	27.1%	78	193	3,261	3,454	0.441%	61	0.995
福岡県	5,030,818	1,050,467	20.9%	502	416	18,539	18,955	0.377%	55	0.998
佐賀県	864,738	202,370	23.4%	42	200	1,425	1,625	0.188%	125	0.486
長崎県	1,469,197	362,043	24.6%	80	264	2,671	2,935	0.200%	123	0.545
熊本県	1,844,644	452,408	24.5%	221	289	11,061	11,350	0.615%	40	1.198
大分県	1,215,388	306,661	25.2%	234	184	9,132	9,316	0.767%	33	1.925
宮崎県	1,161,026	284,119	24.5%	33	180	944	1,124	0.097%	253	0.284
鹿児島県	1,739,075	446,385	25.7%	80	369	3,397	3,766	0.217%	119	0.460
沖縄県	1,391,215	231,421	16.6%	72	193	1,913	2,106	0.151%	110	0.518

※平成20年12月14日までに提出された登録名簿、実施報告書に基づく数

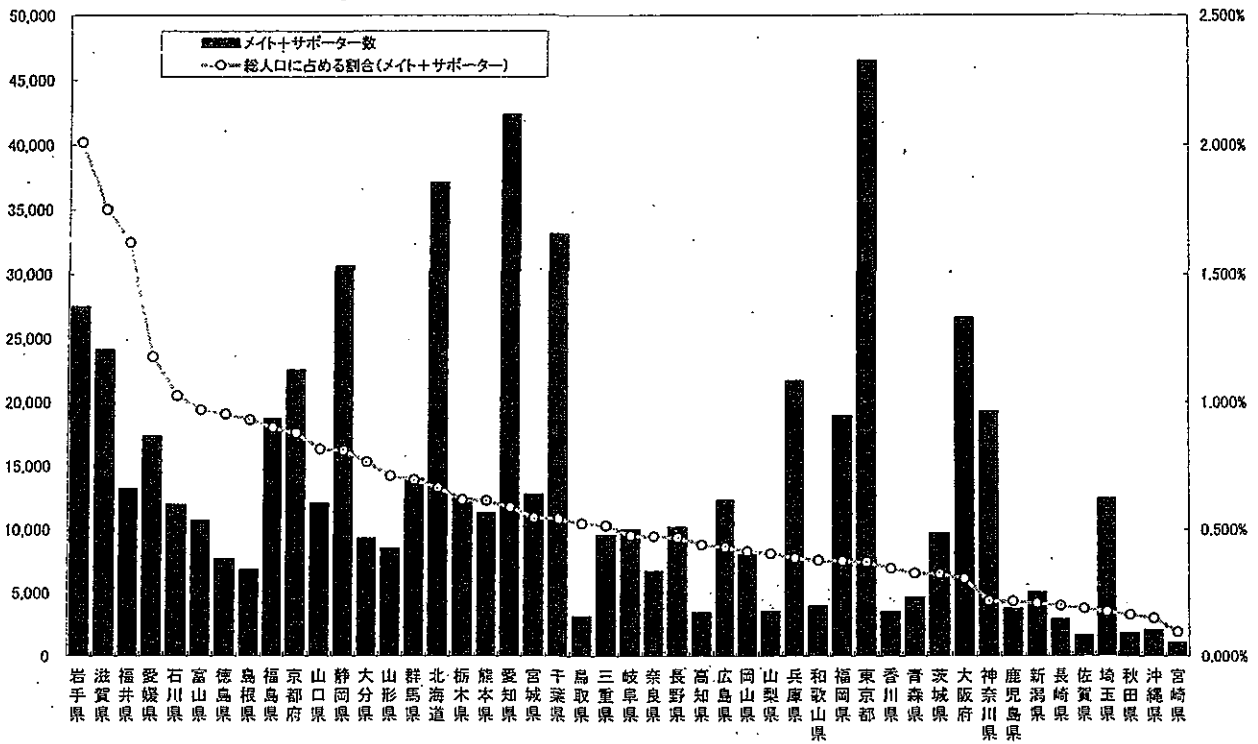
※窓口：連絡先として設置されている自治体等を含む

※登録から2年間にわたり講座開催実績のないキャラバン・メイトについては、サポーター数に含む。

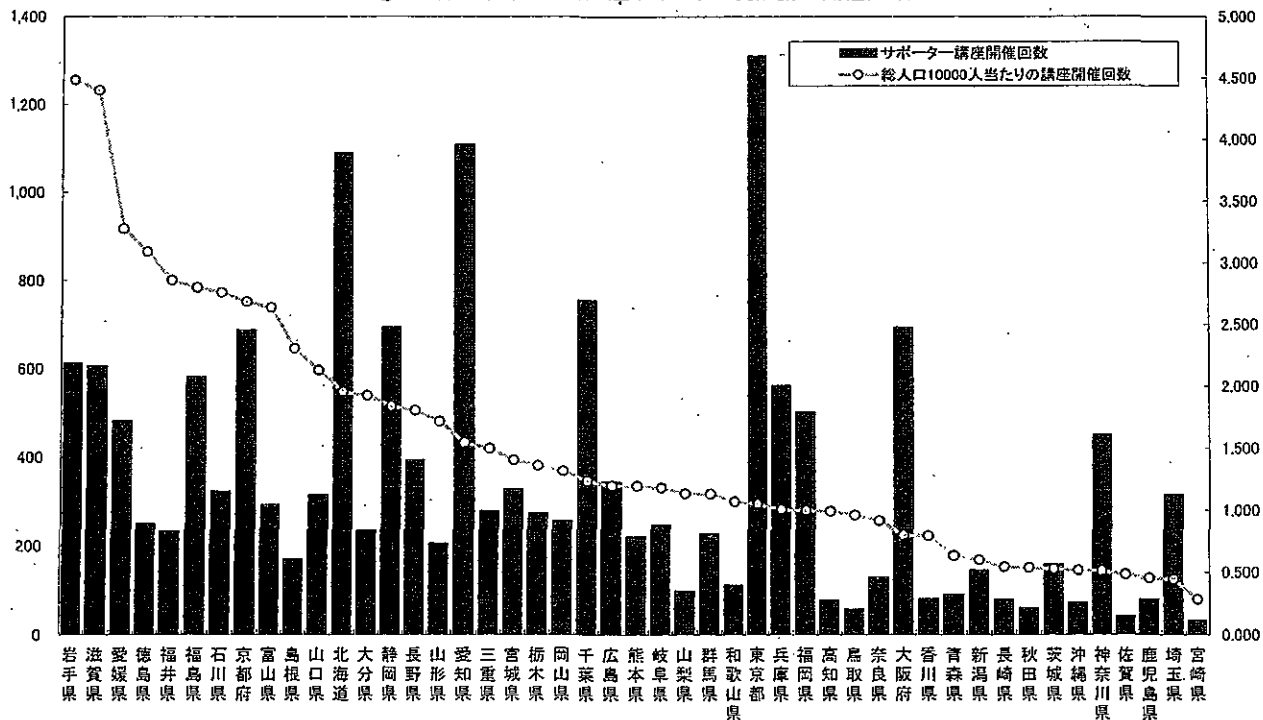
※人口、高齢者人口：総務省発表 住民基本台帳による（平成20年3月31日現在）

都道府県別キャラバン・メイト数、認知症サポーター数、開催回数

＜④-2 都道府県別 認知症サポーター数(キャラバンメイトを含む)＞



＜④-3 都道府県別 認知症サポーター養成講座開催回数＞



各位

「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会開催について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンの活動にご高配を賜り、ありがとうございます。お蔭様をもちまして、本キャンペーンは平成17年にスタートしてから4年目がすぎようとしています。「認知症を知り 地域をつくる10カ年」の中間年（平成21年度）を来年度に控え、その目標に向かって全国で着実にその成果が積み重ねられています。

本年度1年間の成果を確認し、今後のさらなる飛躍をめざすべく「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会を開催します。ぜひご参加・ご周知にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬具

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」事務局
(認知症介護研究・研修東京センター内)

新たなステップにむけ、ぜひ一緒に！

「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会

日時：2009(平成21)年3月7日(土)13:30~17:00(予定)

場所：草月ホール(東京都港区赤坂7-2-21 草月会館B1階)

参加費：無料(参加登録をお願いします。定員になり次第、締め切らせていただきます)

プログラム：**第1部 第5回認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議**

(予定) シンポジウム「『認知症を知り 地域をつくる』キャンペーンの歩み
~町づくりの今、そして今後に向けて」

◇映像：「認知症を知り 地域をつくる」現場から一キャンペーン4事業を通じて

◇座談会：ご本人・ご家族が安心して暮らせる町の実現に向けて

一吉田民治さん/平成16年に若年性認知症と診断される(京都府宇治市)

一吉田照美さん/父、民治さんを同居介護中

一吉田一平さん/ゴジカラ村 代表(愛知県長久手町)

一館石宗隆さん/札幌市福祉保健局保健所長、元・厚生労働省老健局計画課課長補佐

一堀田 力(100人会議議長)

<進行>村田幸子(100人会議会員、福祉ジャーナリスト)

第2部 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2008 発表会

「町づくり2008モデル」の紹介と発表

◇報告：長谷川和夫(町づくりキャンペーン2008実行委員長、認知症介護研究・研修東京センター長)

◇「町づくり2008モデル」7団体からの活動発表

<インタビュー>町永俊雄(町づくりキャンペーン2008地域活動推薦委員、NHKキャスター)

主催：認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2008実行委員会

*参加には登録が必要です。参加ご希望の方は、氏名(団体の場合は代表者名・人数)、連絡先(住所、電話、FAX、e-mailアドレス)を明記の上、下記にFAXまたはメールでご連絡ください。

問合せ・申し込み先：「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」事務局

FAX：03-3334-2415 E-mail：info@ninchishol100.net

■「認知症を知り 地域をつくる10カ年」について (平成17年4月厚生労働省資料より)

●認知症を知る1年—2005(平成17)年度

●「認知症を知り 地域をつくる10カ年」中間年—2009(平成21)年度

到達目標 ○認知症について学んだ住民等が100万人程度に達し、地域のサポーターになっている。
○認知症になっても安心して暮らせるモデル的な地域(以下のような地域)が、全国各都道府県でいくつかできている。

- ・認知症であることをためらいなく公にできる。(早期発見・早期対応)
- ・住民や町で働く人々によるちよつとした助け合いが活発。
- ・予防からターミナルまで、関係機関のネットワークが有効に働いている。
- ・かかりつけ医を中心とした地域医療ケアチームがきめ細やかに支援している。
- ・徘徊する人を町ぐるみで支援している。

●「認知症を知り 地域をつくる10カ年」—2014(平成26)年度

到達目標 認知症を理解し、支援する人(サポーター)が地域に数多く存在し、すべての町が認知症になっても安心して暮らせる地域になっている。

■「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」について

●平成16年12月より、従来の「痴呆」に替わる用語として「認知症」が使用され、これを機に厚生労働省の「認知症を知り 地域をつくる10カ年」の構想に基づく「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンが平成17年度より展開されています。

●「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンは、趣旨に賛同した各界有識者、企業団体、福祉団体を中心とする「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」(議長:堀田力(財)さわやか福祉財団理事長)によって推進されています。認知症介護研究・研修東京センターは事務局を務めさせていただいております。

■「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンのおもな取り組み

●「認知症サポーター100万人キャラバン」による住民・職域・学校講座
(5年間で100万人の「認知症サポーター」を養成)
<http://www.caravanmate.com/>

●「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン
<http://www.dcnnet.gr.jp/campaign/>

●認知症の人「本人ネットワーク」支援
(認知症の人本人と家族のネットワークづくりを応援)
<http://www.dai-jobu.net/>

●認知症の人や家族の力を活かしたケアマネジメントの推進
(認知症の人本人と家族によるケアプラン作り)
<http://www.itsu-doko.net/>

※詳しくは「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」ホームページをご覧ください。
<http://www.ninchisho100.net/> (「認知症 100人会議」で検索してください)

●「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンと「町づくり2008モデル」について

認知症介護研究・研修東京センターが事務局を務める「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンは今年度で5回目を迎えました。地域活動推薦委員会（委員長：堀田力 さわやか福祉財団理事長）による慎重な検討の結果、今年度全国から寄せられた70の活動事例の中から、今後のモデルとなる「町づくり2008モデル」7点が決定しました。

「町づくり2008モデル」（応募先着順）

- 1) 「仲間と共に、若年認知症をイキイキと！」 若年認知症グループ どんどん（神奈川県川崎市）
- 2) 「公立中学校の空き教室・花壇を住民（認知症者を含む）と中学生が協働作業を通して認知症を全校区民が正しく理解する」 社会福祉法人 リデルライトホーム（熊本県熊本市）
- 3) 「認知症メモリーウォーク・千葉」 第2回 認知症メモリーウォーク・千葉実行委員会（千葉県）
- 4) 「目黒たけのこ流・認知症ネットワーキング」 目黒認知症家族会 たけのこ（東京都目黒区）
- 5) 「親父パーティーが地域を変える！～認知症地域資源ネットワーク『NICE!藤井寺』の構築～」 社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会（大阪府藤井寺市）
- 6) 「であう・ふれあう・わかちあう 認知症の人の見守り支援『あんしんメイト』」 NPO法人 認知症サポートわかやま（和歌山県和歌山市）
- 7) 「地域と共に歩む老人ホームを目指して」 社会福祉法人 ゆうなの会 特別養護老人ホーム大名（沖縄県那覇市）

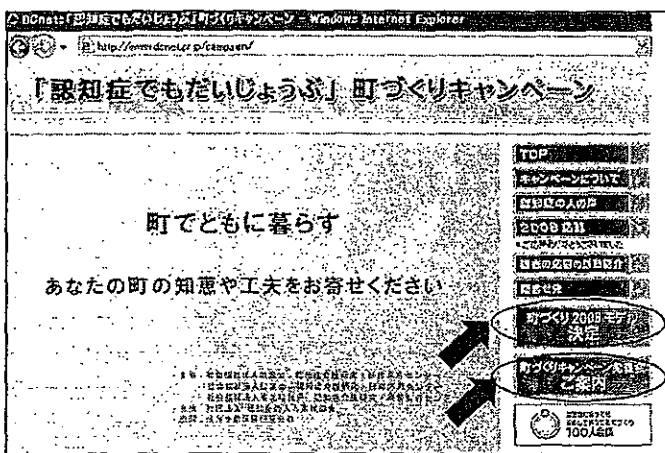
※上記7事例についての詳細は、町づくりキャンペーンホームページをご覧ください。

※これまでご応募いただいた事例も、検索いただけます。100人会議ホームページをご覧ください。

※来年度（平成21年度）も引き続き、ご応募をお待ちしています。さまざまな活動についての情報がありましたら事務局までぜひお知らせください。詳しい要項が決まりましたらホームページでご案内します。

●町づくりキャンペーンホームページ

<http://www.dcnet.gr.jp/campaign/>
 「町づくりキャンペーン」で検索してください
 ～「町づくり2008モデル」がご覧いただけます

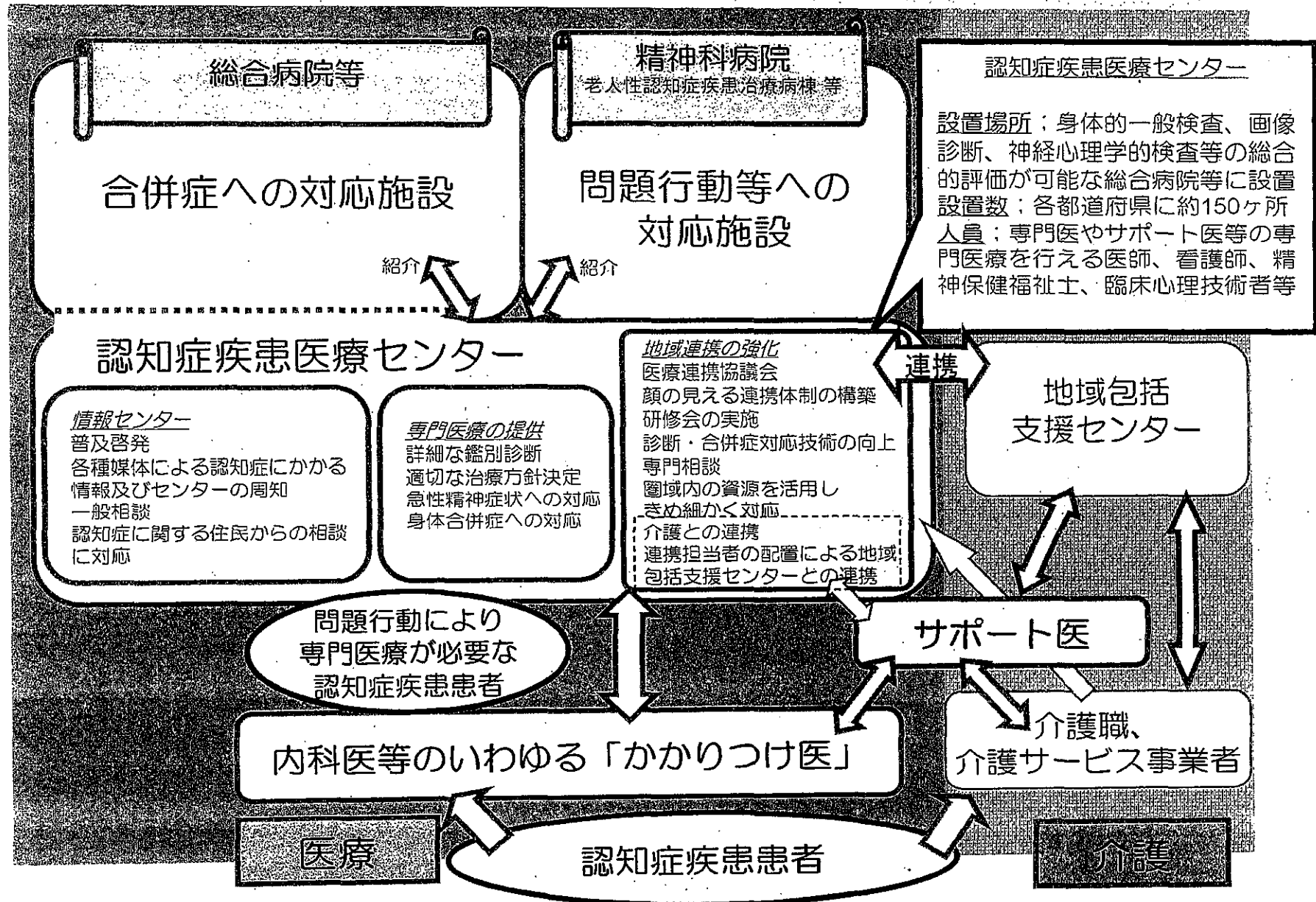


●100人会議ホームページ

<http://www.ninchisho100.net/>
 「認知症 100人会議」で検索してください
 ～これまで応募いただいた事例を検索いただけます



認知症疾患医療センター運営事業



認知症疾患医療センターの整備状況について

(平成21年1月14日現在)

都道府県 指定都市	医療機関名	開設者	指 定 年 月	
新 潟 県	三島病院	医療法人楽山会	平20.4.1	新潟県長岡市藤川1713番地の8
	柏崎厚生病院	医療法人立川メディカルセンター	平20.6.23	新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2071番地の1
	黒川病院	医療法人白日会	平成20.9.25	新潟県胎内市下館大開1522
福 井 県	敦賀温泉病院	医療法人敦賀温泉病院	事前協議済	福井県敦賀市吉河41号1番地5
	松原病院	財団法人松原病院	事前協議済	福井県福井市文京2丁目9-1
大 阪 府	水間病院	医療法人河崎会	平20.4.1	大阪府貝塚市水間51
	関西医科大学附属滝井病院	学校法人関西医科大学	平20.4.1	大阪府守口市文園10-15
	さわ病院	医療法人北斗会	平20.4.1	大阪府豊中市城山町1-9-1
	山本病院	医療法人清心会	平20.4.1	大阪府八尾市天王寺屋6-59
	大阪さやま病院	医療法人六三会	平20.4.1	大阪府大阪狭山市岩室3-216-1
	新阿武山病院	特定医療法人大阪精神医学研究所	平20.4.1	大阪府高槻市奈佐原4-10-1
	仙台市	仙台市立病院	仙台市	平20.4.1
堺 市	浅香山病院	財団法人浅香山病院	事前協議済	大阪府堺市堺区今池3-3-16
北九州 市	小倉蒲生病院	医療法人社団小倉蒲生病院	平20.4.1	福岡県北九州市小倉南区蒲生五丁目5番1号
合計 6都道府県・指定都市 14施設				